

「頸動脈小体腫瘍の全国調査(後向き観察研究)」についてのご説明

●はじめに

「頸動脈小体腫瘍（傍神経節腫）は稀な腫瘍性疾患ですが、全体の約10%が悪性、全体の約10%が家族性とされてきました。近年、ゲノム研究の進歩により遺伝子の変異が関わっていることが発見されました。現在では傍神経節腫のうちその70%以上が何らかの遺伝子変異を持ち、30%以上が家族性であることが明らかとなっておりますが、本邦では頸動脈小体腫瘍の遺伝子学的な検討はほとんどなされておらず、全国的な腫瘍発生の頻度や家族例の検討なども全く行われていません。頸動脈小体腫瘍の全国調査は、これまで全貌解明の遅れてきた本邦での本疾患の理解に大きく貢献します。」

●研究対象

「当院耳鼻咽喉科において1996年2月1日から2016年1月31日までの過去20年間に頸動脈小体腫瘍の診断で手術を行い、病理組織検査で傍神経節腫と診断された症例もしくは画像診断あるいは病理学的検査で頸動脈小体腫瘍(傍神経節腫)と診断された方(対象症例:5例)を対象にしています。」

●研究内容

「日本各地域における症例の発生率と病型、家族例、術後合併症などを調べます。この検査結果と患者さんの背景を比較し、治療効果や予後においてこれらの検査結果がどう関わっているのか、考察します。なお、この研究を行うことで患者さんに通常診療以外の余分な負担は生じません。」

●患者さんの個人情報の管理について

「本研究では個人情報の漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取っています。本研究の実施過程及びその結果の公表(学会や論文等)の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。」

●患者さんがこの研究に診療データを提供したくない場合の措置について

「1996年2月1日から2016年1月31日までの間で、本院で頭頸部腫瘍の治療を受けられた方の中で、この研究に診療データを提供したくない方は、下記までご連絡下さい。」

●研究期間

(病院長承認日)から令和3年9月30日まで

●医学上の貢献

「研究成果は頸動脈小体腫瘍の発症機序の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、患者さんの治療と健康に貢献できます。」

●問い合わせ先

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目札幌

医科大学附属病院耳鼻咽喉科

本院研究責任者 黒瀬誠

【平日 Tel(011)611-2111 内線 34910 (教室)

休日・時間外 Tel(011) 611-2111 内線 34960 (4階南病棟)